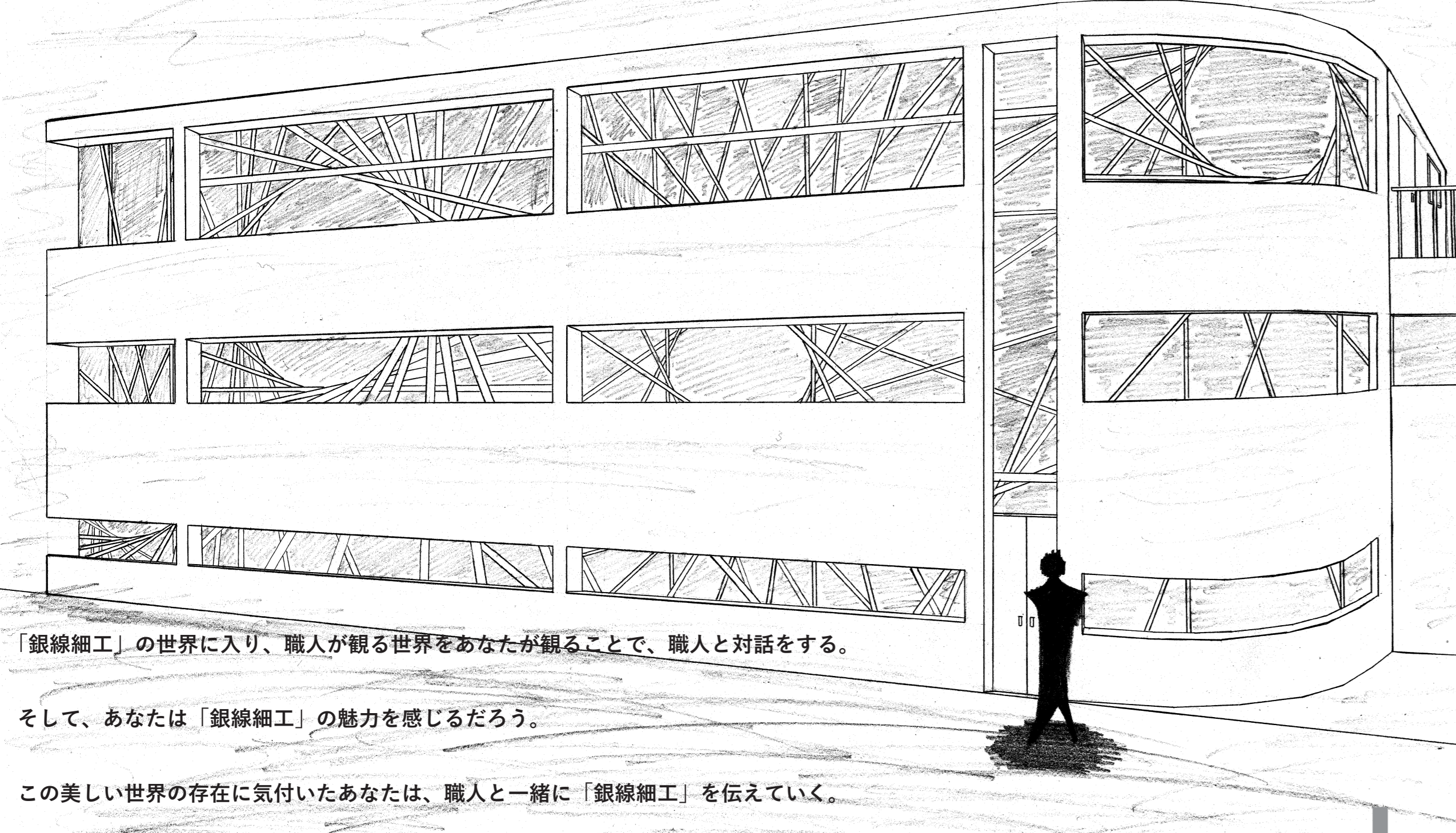


銀と線の宇宙船



「銀線細工」の世界に入り、職人が観る世界をあなたが観ることで、職人と対話をする。

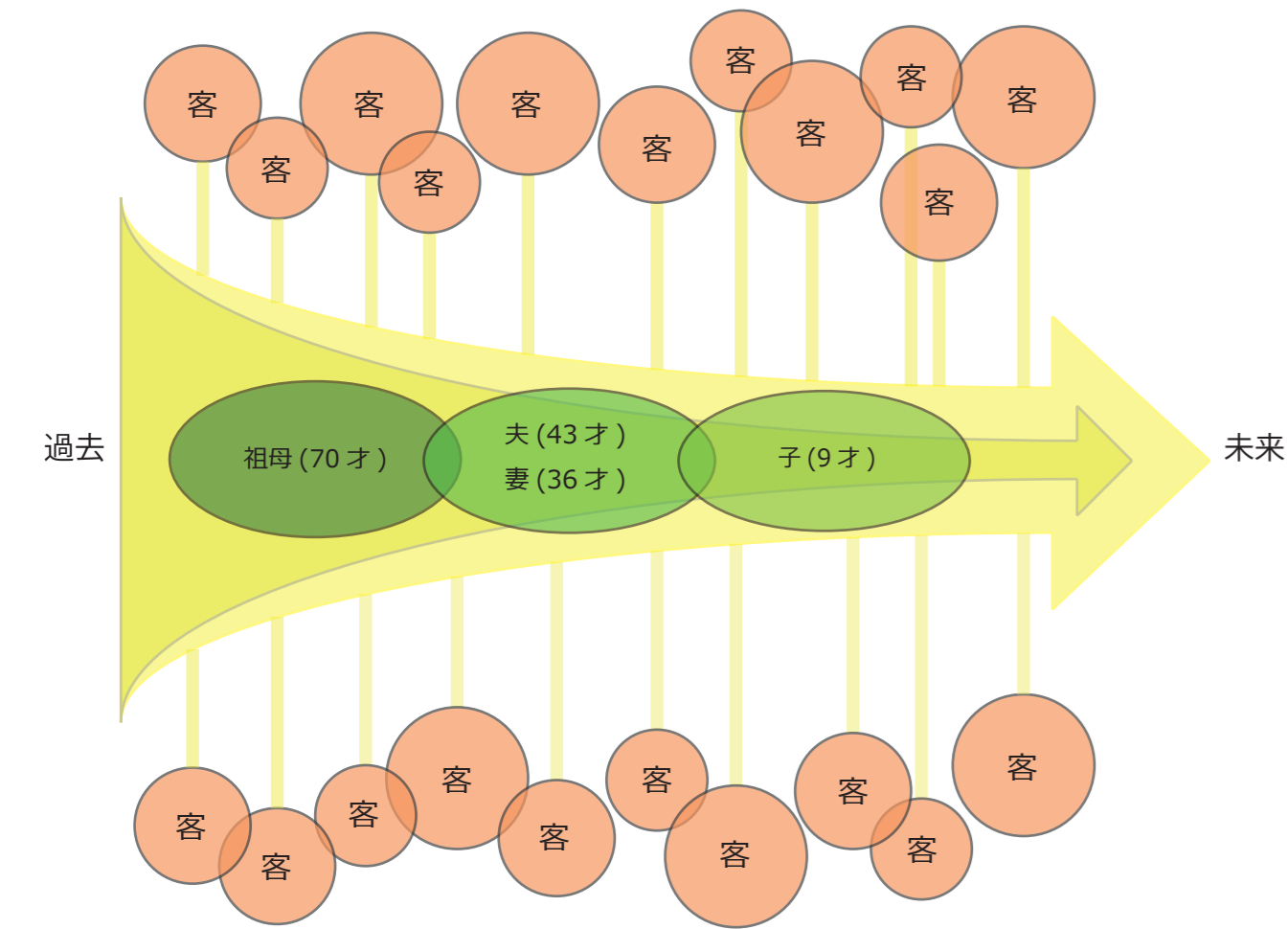
そして、あなたは「銀線細工」の魅力を感じるだろう。

この美しい世界の存在に気付いたあなたは、職人と一緒に「銀線細工」を伝えていく。

● CONCEPT

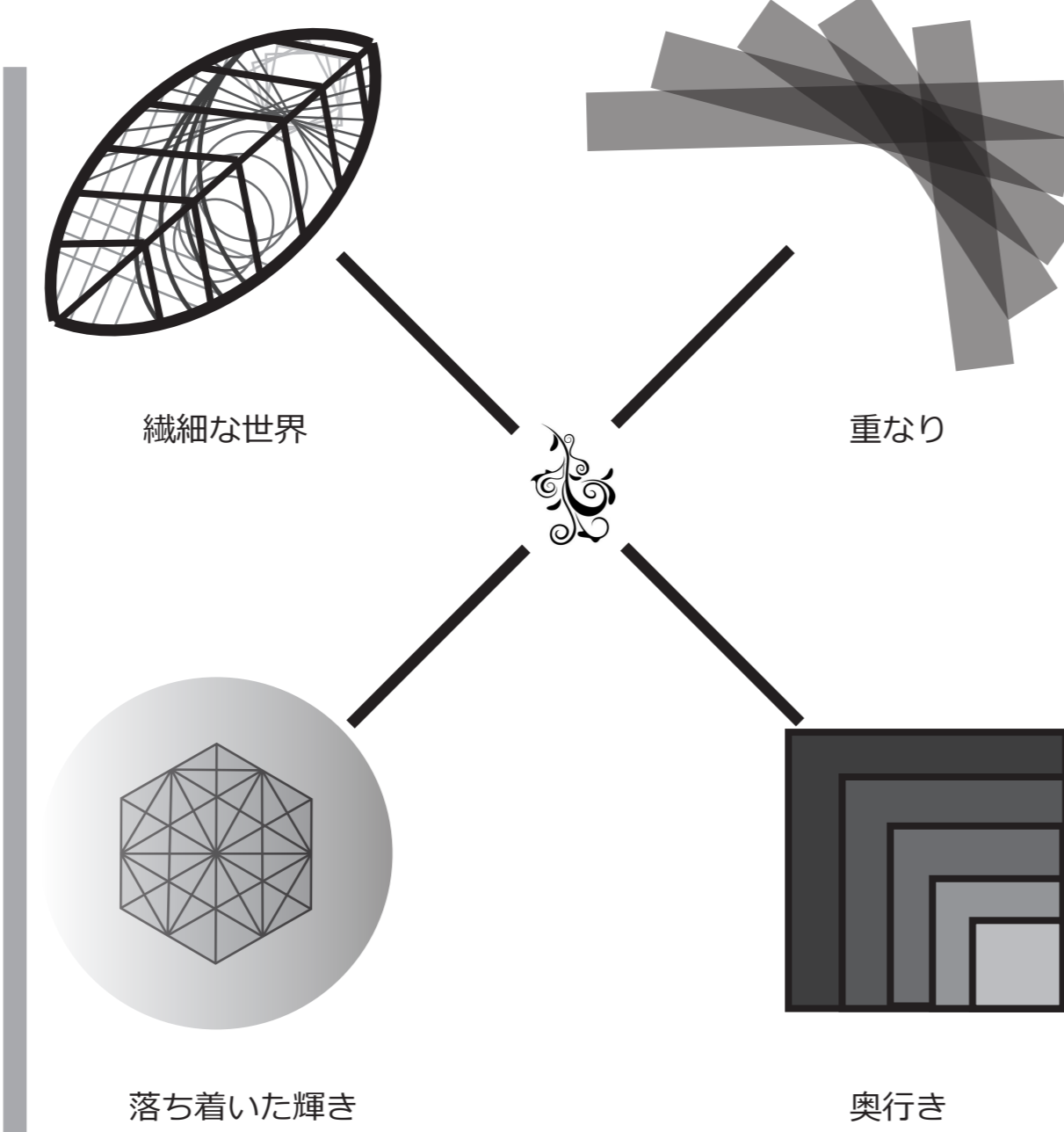
秋田には「銀線細工」という伝統工芸がある。「銀線細工」は銀線をねじり、切り、曲げ、つなげるといった作業を繰り返して作られる遠く江戸時代より伝えられた「線細工」という伝統工芸からきている。職人は自身が持つ線細工の技法によって、繊細で身につける人がより美しくなるような作品が生み出す。職人は様々な物体を銀線で形にするが、それぞれの作品が職人の想像する「美」の世界観そのものであり、観る人に感動を与える。そしてその人を「銀線細工」の魅力が詰まった世界へと導く。現在秋田にいる銀線細工の職人は数人で知名度が少なく、「銀線細工」自体が次第に薄れていってしまっている。そこで「銀線細工」の魅力を空間的に表現した店舗付住宅を提案する。

● DIAGRAM

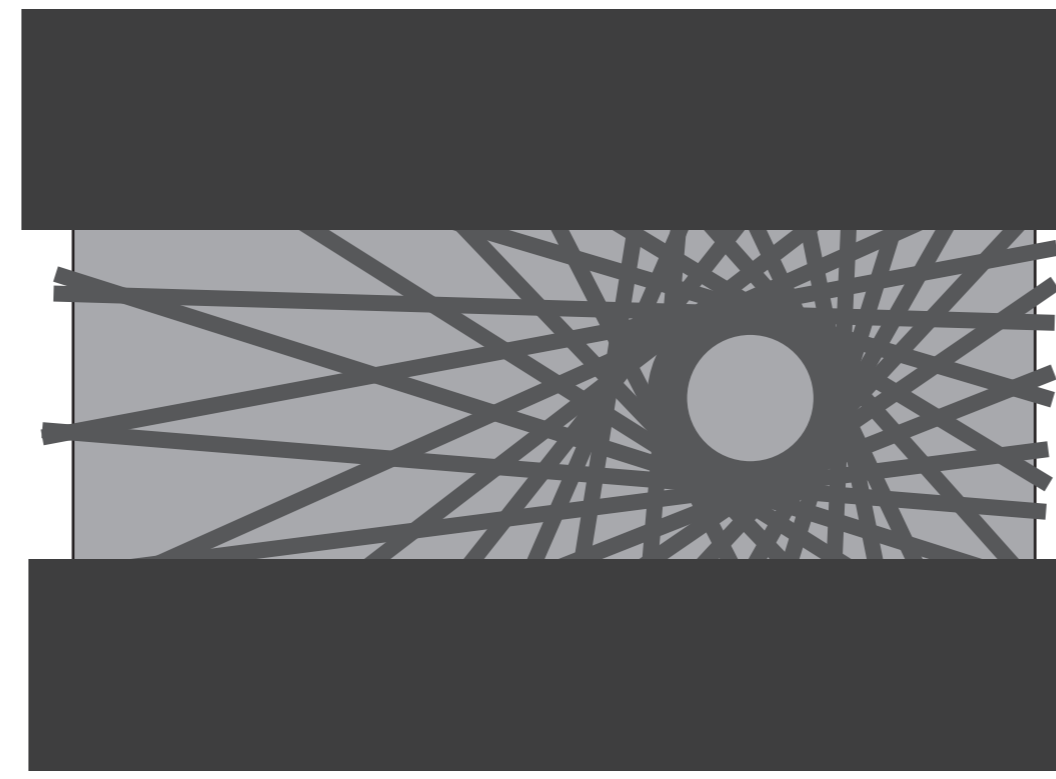


「銀線細工」を後世に伝えていくときに、だんだんと知識や技術において薄弱化する恐れがある。そこでお客さんに「銀線細工」というものをより深く伝える場を設け、職人目線で見てもらう。「銀線細工」の魅力を感じたお客さんは、周りの人にその魅力を伝えていく。そうすることで、この店舗内での職人とお客さんとの交流範囲が拡大する。

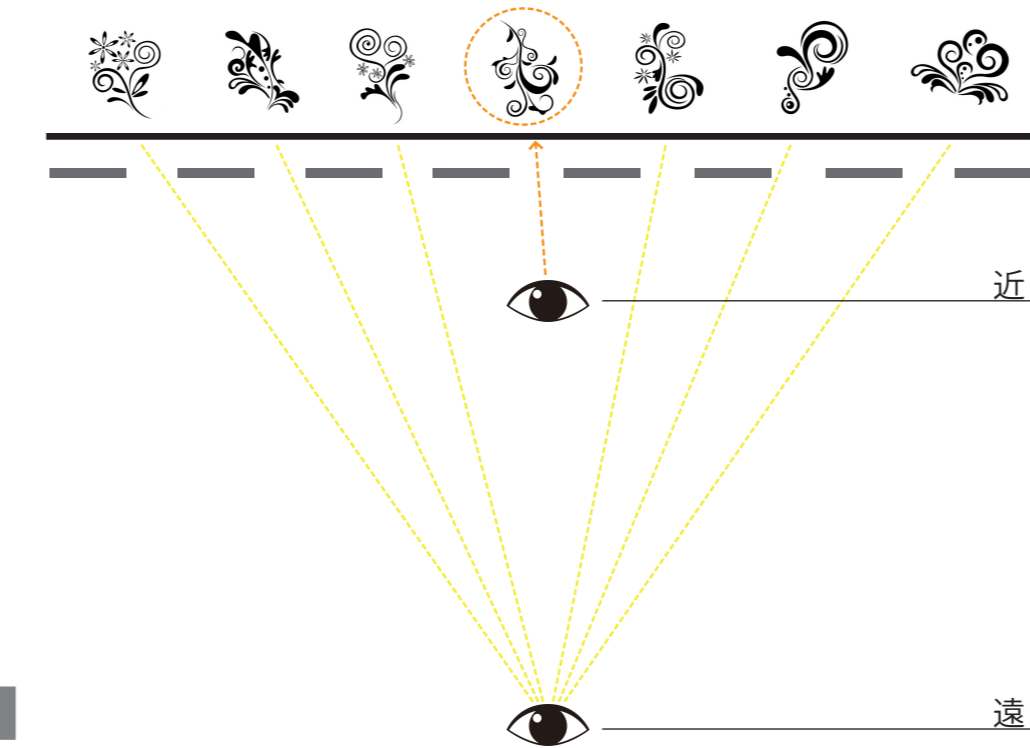
● 銀線細工の魅力



● DESIGN

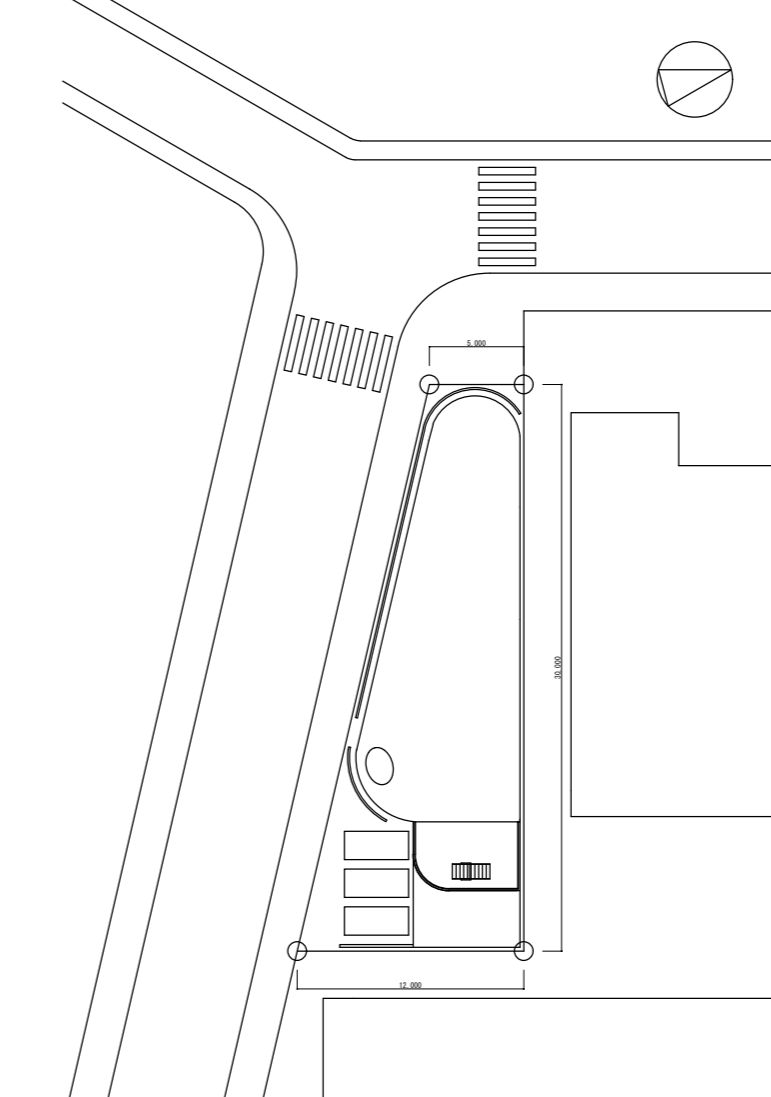


外観のデザインは、銀線細工の「線」とその奥に「繊細さ」があることを表現している。

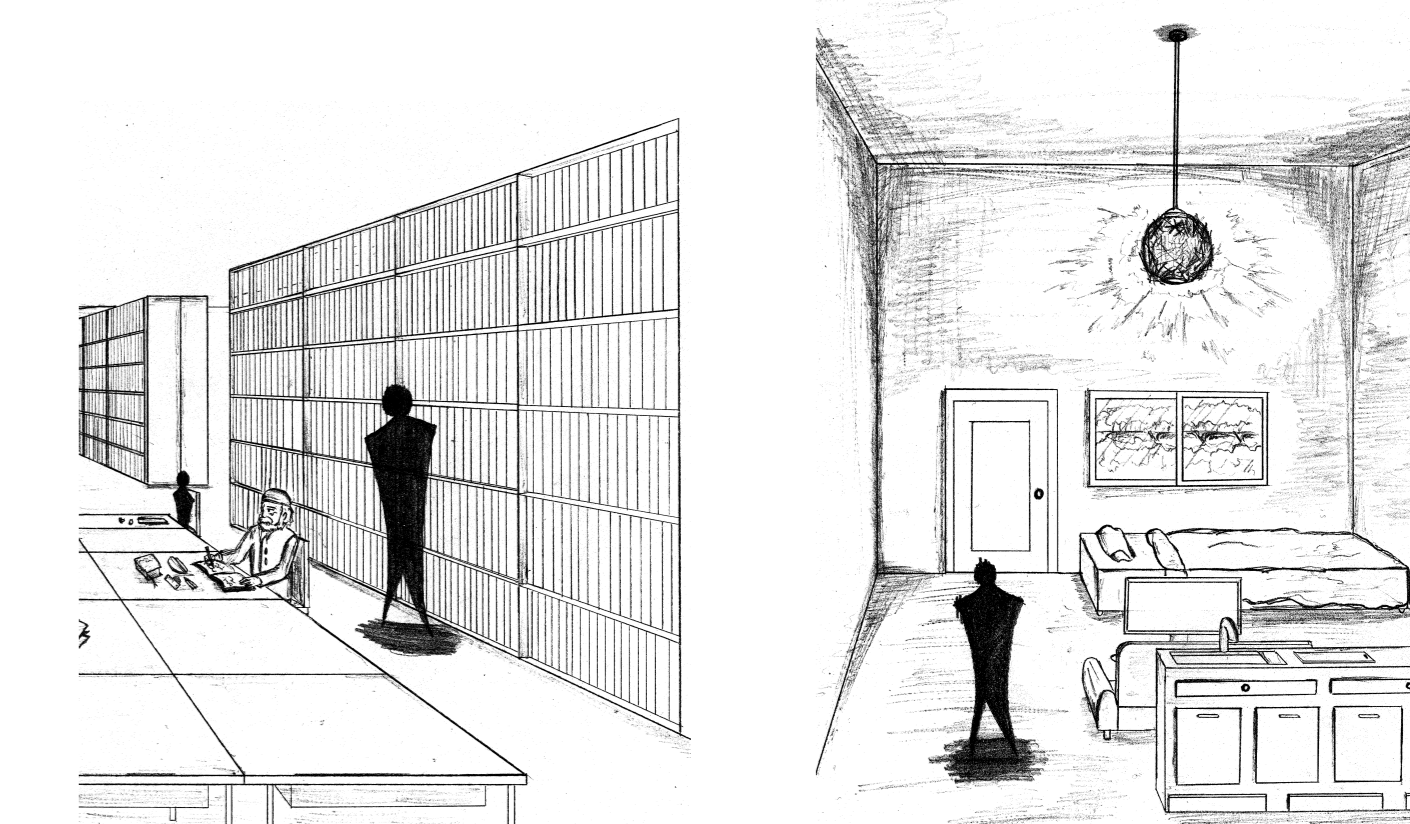
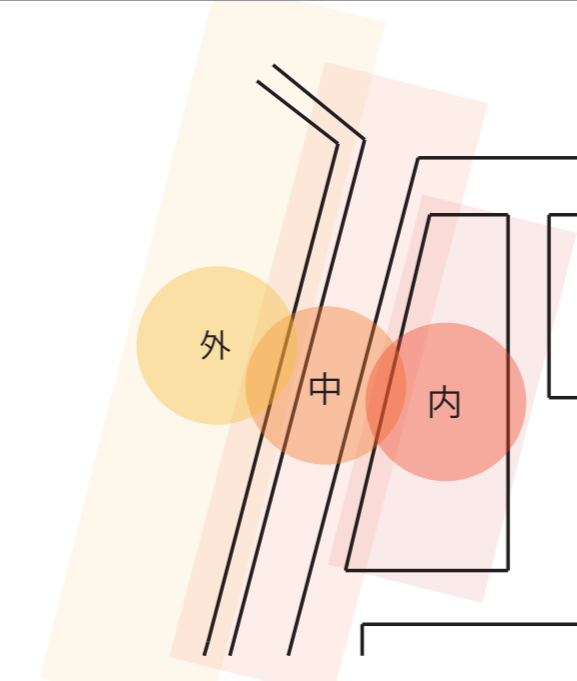


お店との「距離」とそれに伴う「視界」の変化から考えた。外からはいくつもの作品が展示されている。遠くから観ると、それぞれの作品は一つの光として強調され、星の光のように見える。それは宇宙空間のような幻想的な光景であり、観る人を銀線細工の世界に引き付ける。銀線細工と観る人との「距離」が近づくと、たくさんの作品が観えていた「視界」は狭くなり、一つの作品に目が留まる。

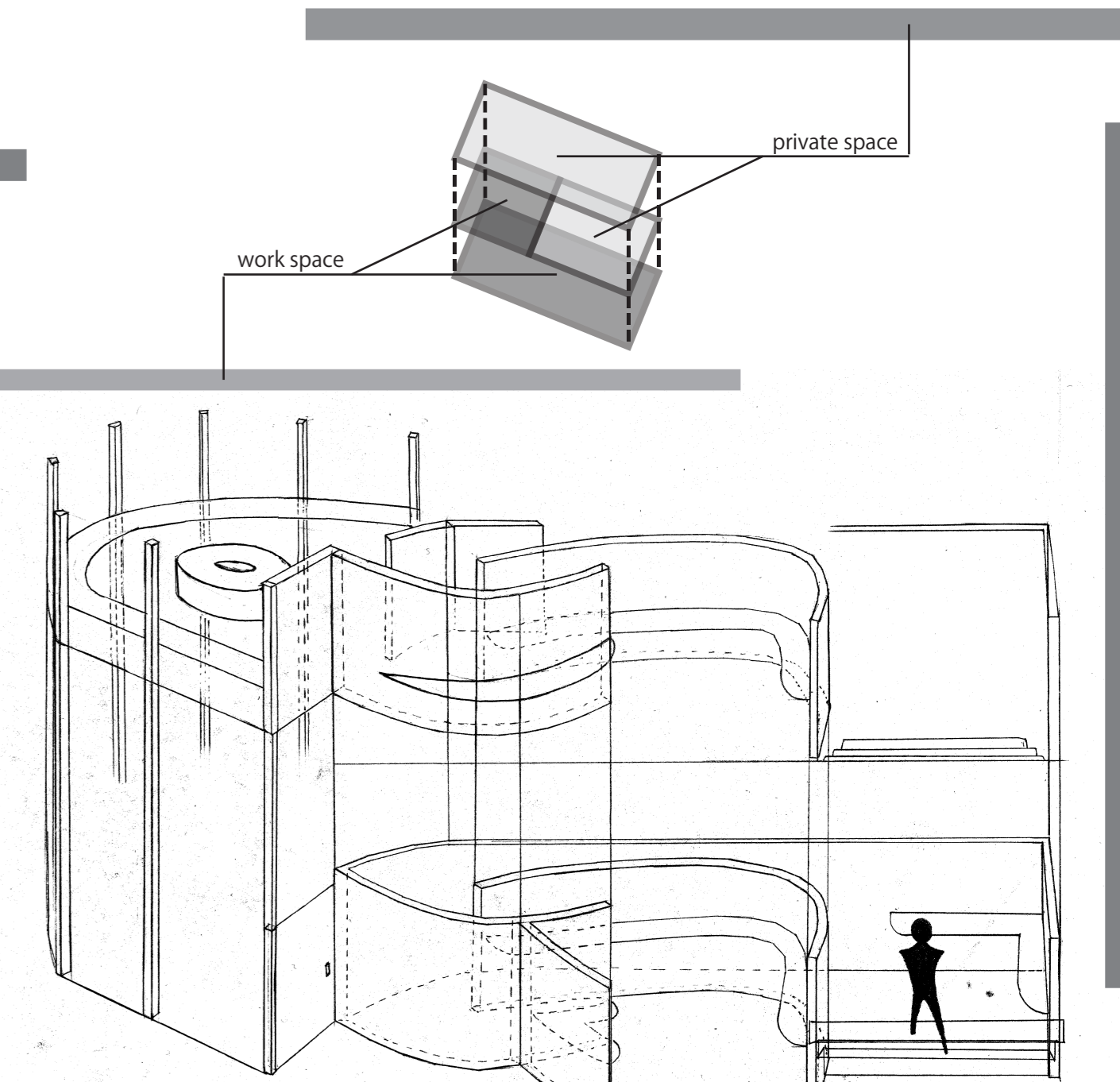
● PLAN



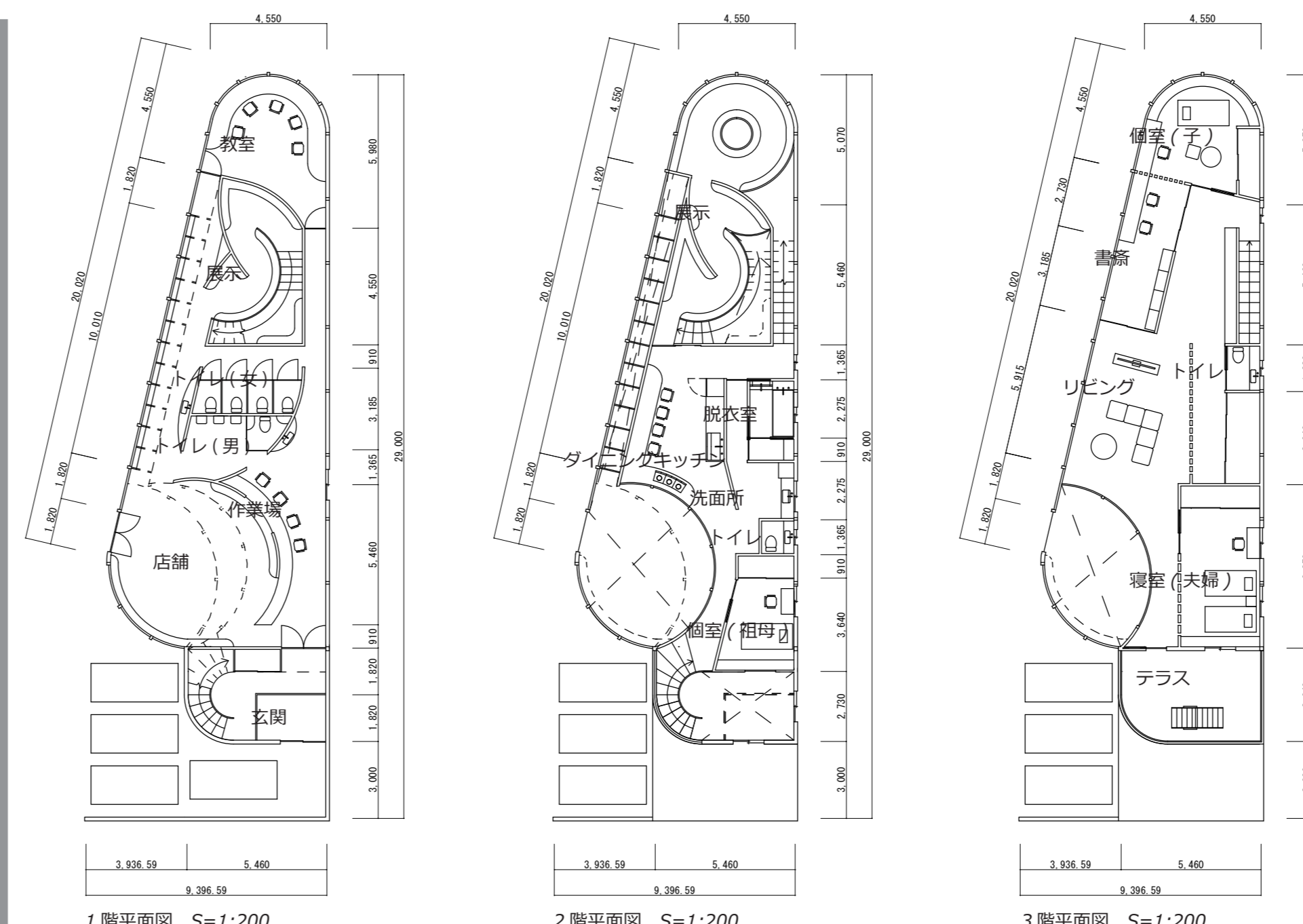
配置図 S=1:400



3階の書斎は仕切り戸で視線・光を調節するだけでなく、2階の祖母の個室は玄関・水回りから近い場所に配置し、個室(子)とリビングをつなぐ。老後の生活を考慮する。



銀線細工の展示スペースは円の「重なり」からなり、進む先に何があるかわからない構造になっている。展示については、輝きを放つ銀の色とは相反する色を背景として強調させる。またいろいろな角度から「光」(日光・照明)を通すことで、展示している一つひとつの作品に異なる輝きをもたらす。

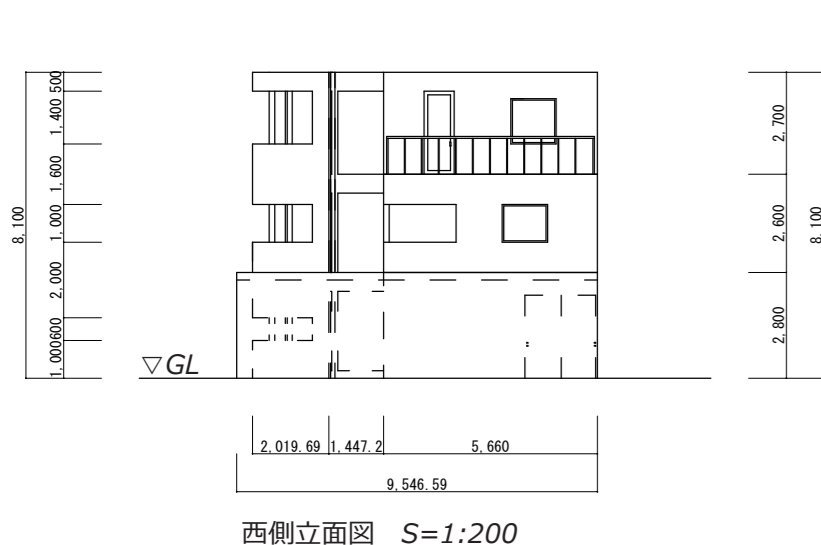


1階平面図 S=1:200

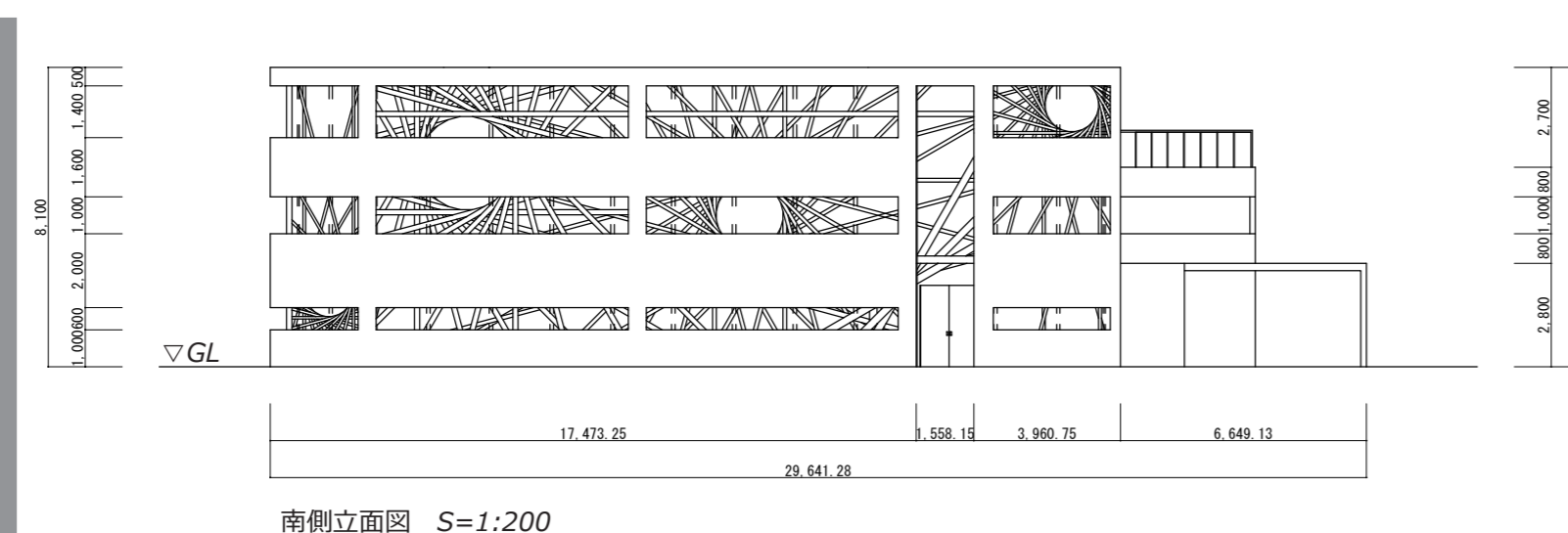
2階平面図 S=1:200

3階平面図 S=1:200

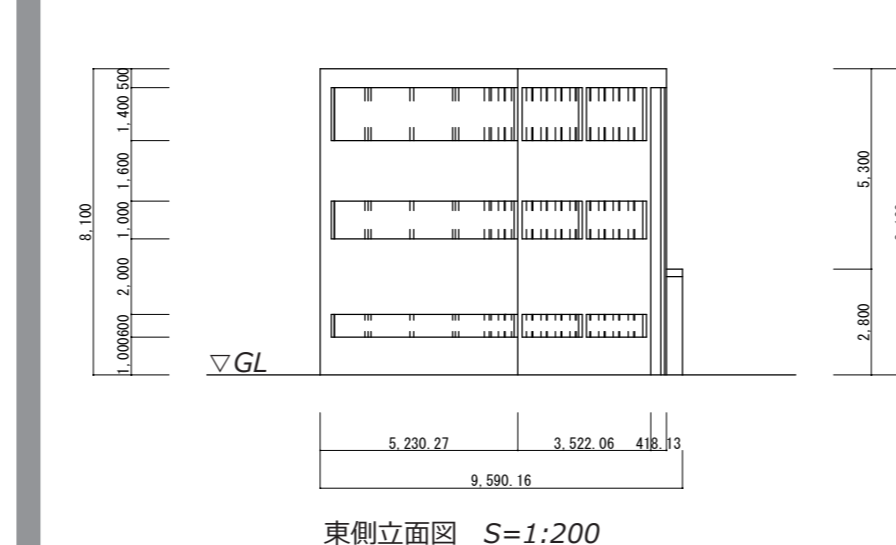
- 各階面積
- 1階 177.787㎡
- 2階 107.45㎡
- 3階 140.965㎡
- 延べ床面積
- 426.202㎡
- 建築面積
- 186.593㎡



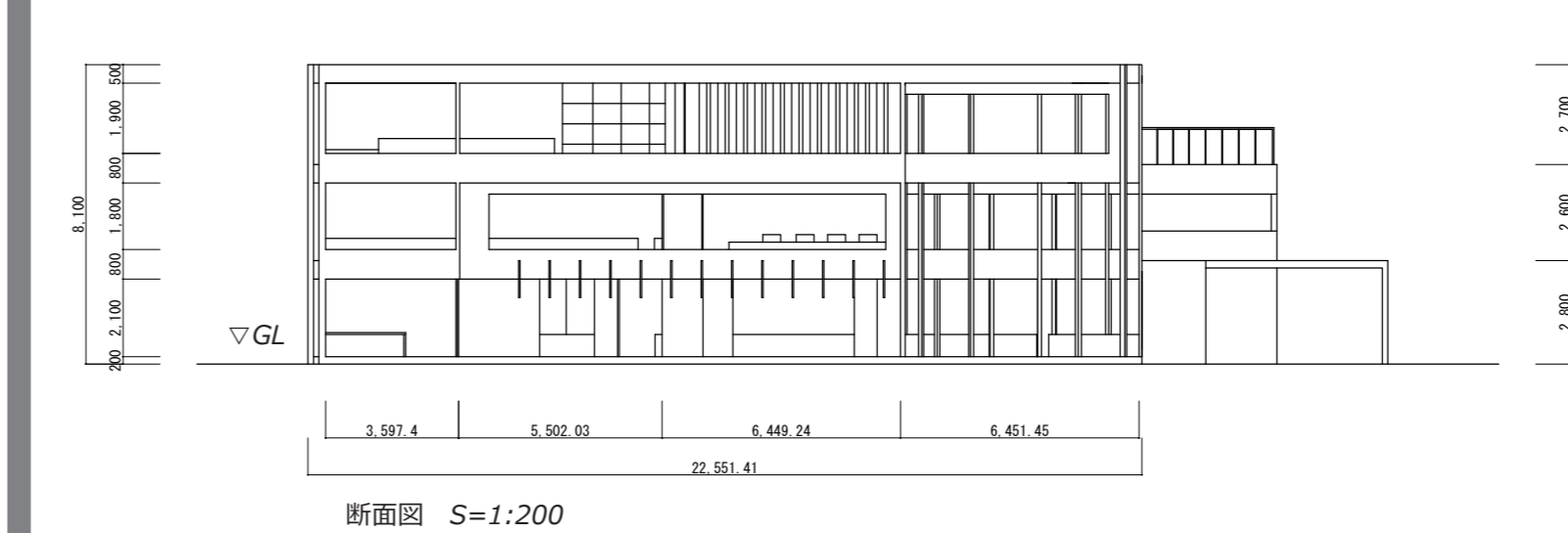
西側立面図 S=1:200



南側立面図 S=1:200



東側立面図 S=1:200



断面図 S=1:200



1階の教室につながった廊下は「重なり」と「奥行き」を表している。南側からの日光によって立体的に空間を照らす。